

福島工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	国語
科目基礎情報				
科目番号	0029	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	4	
教科書/教材	『現代の国語』『高等学校言語文化』『現代の国語 準拠ワーク』『高等学校言語文化 準拠ワーク』(数研出版)『常用漢字の級別学習ベーシック』(京都書房)、後期から『論理国語』『論理国語 準拠ワーク』(数研出版)			
担当教員	高橋 宏宣			
到達目標				
①現代文においては、作品のテーマや作者の主張を理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につけ、作品の大意を把握できるようにする。				
ルーブリック				
現代文	理想的な到達レベルの目安 文章の内容を正確に理解することができます。	標準的な到達レベルの目安 文章の内容を理解することができます。	未到達レベルの目安 文章の内容を理解することができない。	
古文	古文の内容を理解り、現代語訳すことができる。	古文の内容を理解することができます。	古文の内容を理解することができない。	
漢文	漢文を書き下し文に直し、現代語訳すことができる。	漢文を書き下し文に直すことができる。	漢文を書き下し文に直すことができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。			
授業の進め方・方法	中間試験、期末試験ともに50分の試験を実施する。 定期試験の成績を60%、課題10%、小テスト・平素の成績を30%として評価し、60点以上を合格とする。			
注意点	・不明な語句がある場合は、辞書を引いて調べる習慣を身につけること。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	現代文：デジタルメディア時代の複製	「原形芸術」と「複製芸術」について理解できる。	
	2週	現代文：事実なのか考えなのか	「推測」と「事実」のちがいについて理解できる。	
	3週	古文：伊勢物語「芥川」	文法事項（用言・助動詞）に注意しながら、古文を現代語訳することができます。	
	4週	古文：伊勢物語「筒井筒」	文法事項（用言・助動詞）に注意しながら、古文を現代語訳することができます。	
	5週	古文：伊勢物語「筒井筒」	文法事項（用言・助動詞）に注意しながら、古文を現代語訳することができます。	
	6週	現代文：動的平衡の回復	「動的平衡」とは何か理解できる。	
	7週	現代文：動的平衡の回復	環境に対する人間の態度について筆者の考え方を理解できる。	
	8週	現代文：無痛化する社会の行方	現代の「無痛化」とは何か理解できる。	
後期	9週	現代文：無痛化する社会の行方	「無痛化」した社会の問題点について理解できる。	
	10週	漢文：漢詩	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができます。	
	11週	漢文：漢詩	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができます。	
	12週	漢文：漢詩	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができます。	
	13週	表現：要約・比較	文章の要約や論点の比較ができる。	
	14週	表現：論証・意見文を書く	小論文を書くことができる。	
	15週	期末試験の返却	理解の不十分な点に気づくことができる。	
	16週			
3rdQ	1週	現代文：手の変幻	筆者の考える美しさというものについて理解することができます。	
	2週	現代文：手の変幻	筆者の考える美しさというものについて理解することができます。	
	3週	古文：平家物語「祇園精舎」	文法事項（用言・助動詞）に注意しながら、古文を現代語訳することができます。	
	4週	古文：平家物語「木曾の最期」	文法事項（用言・助動詞）に注意しながら、古文を現代語訳することができます。	
	5週	古文：平家物語「木曾の最期」	文法事項（用言・助動詞）に注意しながら、古文を現代語訳することができます。	
	6週	現代文：山月記	登場人物の物語上の役割を理解できる。	
	7週	現代文：山月記	登場人物の物語上の役割を理解できる。	
	8週	現代文：山月記	李徵がなぜ虎になったか理解することができます。	
	9週	現代文：胆力について	胆力があるとはどういうことか理解できる。	

	10週	現代文：胆力について	胆力があるとはどういうことか理解できる。
	11週	漢文：雜説	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。
	12週	漢文：雜説	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。
	13週	現代文：「内的成長」社会へ	中間社会の衰退について理解できる。
	14週	現代文：「内的成長」社会へ	「内的成長」について理解できる。
	15週	期末試験の返却	理解の不十分な点に気づくことができる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
			実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	定期試験	課題	小テスト等	合計
総合評価割合	60	10	30	100
基礎的能力	40	0	30	70
応用力	20	10	0	30